



令和6年2月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

伊豆東岸定置網 2024年上半期漁海況予報

神奈川県水産技術センターと共同で、2024年上半期（1～6月）の漁海況を予測しました。

黒潮は2017年9月中旬以降、大蛇行流路が継続しており、今期も継続する見通しです。また、沿岸水温は「平年並」～「高め」で推移し、黒潮からの暖水波及が流入した場合は「極めて高め」と予測しました。

主要魚種の動向は、昨年0歳魚(じんだ)が好調に漁獲されたマアジは前年を大きく上回ると予測しましたが、ブリ、マイワシは前年並み、マサバ、ゴマサバは前年並み～前年を下回ると予測しました。またカタクチイワシについては1歳魚は前年並みですが、2歳以上は昨年秋季の三陸～道東沖で12cm以上の大型成魚がみられていたことから、それらが南下してくれば前年を上回ると予測しました。

表 伊豆東岸定置網における2024年上半期の漁海況

項目・魚種	予 測
海況	黒潮はA型基調で推移 蛇行北上部は概ね伊豆諸島海域の西側 沿岸水温は「平年並み」～「高め」、黒潮からの暖水波及時には「極めて高め」
マアジ	来遊量：1歳魚・・・大きく上回る、0歳魚・・・不明 魚体：尾叉長20cm前後 5月頃から0歳魚が漁獲
マサバ	来遊量：前年並み～下回る 魚体：尾叉長30～35cm
ゴマサバ	来遊量：前年並み～下回る 魚体：尾叉長30cm以上及び25～30cm
マイワシ	来遊量：前年並み～下回る 魚体：被鱗体長13～15cm
カタクチイワシ	来遊量：1歳魚は前年並み、 2歳魚は前年を上回る可能性がある 魚体：被鱗体長8～12cm及び12cm以上
ブリ	来遊量：前年並み～下回る 銘柄ぶり・わらさ主体

須崎の青年部がウツボ漁

1月19日、伊豆漁協須崎地区の青年部がウツボ漁を行いました。青年部では、イセエビ刺網の漁獲物がウツボによる食害を受けるため、被害軽減対策として駆除活動を実施しています。

当日は、午前中に恵比寿島沖の海底に設置したておいた捕獲用の筒10本を午後3時頃に引上げ、計43尾のウツボ（大きい物で全長91cm）を捕獲しました。漁港に水揚げしたウツボは下田市内の食品業者が買い上げました。この業者、地元食材としてウツボの有効活用を検討しており、コラーゲンに着目した加工品を開発中とのことでした。新商品は河津桜まつりでお披露目の販売を予定しているそうです。



↑筒を引上げて樽に収容 噛まれないよう注意が必要

伊豆地域から漁業士4名が認定

1月23日、県の指導漁業士、青年漁業士等の認定式がありました。伊豆地域からは合わせて4名が県知事から認定されました。

これからも地域の中核的な漁業者となる皆様のご活躍を期待するとともに、当场としても支援していきます。



←指導漁業士※1の認定者 岡部さん(上段左)

青年漁業士※2の認定者→
埴さん(上段左)と
山田さん(下段左)と
内山さん(下段右)



解説：漁業士とは地域の中核となる漁業者を県が認定する制度です。
※1：指導漁業士：先進的経営を行いながら、若手漁業者等の指導育成に積極的に参画している方を認定
※2：青年漁業士：漁業者グループ等に積極的に参画し今後も中心的な活動を見込まれる方を認定

2月の予定 ●キンメダイ資源評価担当者会議（1日 web）●県漁業士会総会（2日 浜松市舘山寺）
●県水産物出荷組合連合会の総会でキンメダイ資源について話題提供（16日 焼津市）●磯根資源・藻場研究会（26日 web）●磯焼け対策用アカモク種苗出荷 ●潜水調査（稲取、白浜、菅蒲沢）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。